

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 小川郁男 様

施設名 高齢者ケアセンターゆらぎ
 氏名 中台衣久美

研修会報告書

研修会名	第1回相談関係職員研修会				
日時	平成29年6月29日(木)10:00~16:00				
会場	埼玉県県民活動総合センター セミナーホール1				
講師	相談関係職員研修・研修委員				
参加人数	39名				
研修委員 (氏名・施設名)	高齢者ケアセンターゆらぎ 中台衣久美・ハーティハイム 藤本武史 あげお愛友の里 宮河恭介・小江戸の郷 吉野まどか はなぶさ 篠塚伸子・あすかHOUSE松伏 永井千恵				
研修会のテーマ	『老健の相談職の目指すものは何か?』				
研修会の評価	アンケート回収枚数	38 枚	3. グループワーク	#### 0	
	1. 研修内容と目的の一致	4.2 5	4. 研修会の進め方	4.4 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	~総合評価点~	22 25
		②	4 / 5		
③		4 / 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	第1回の研修会は、老健相談職の経験が3年未満の方を対象として、老健の機能やそこで働く相談職の役割について学ぶ機会とした。又、一方的に講義を聞くだけではなく1日を通じてグループワークを行い、主体的に参加をしていただきながら行う研修会とした。 午前中のグループワーク(1)では、介護老人保健施設の理念と役割の理解をはじめ、老健で働く上で最低限知っておく法令について学び、各自で老健が出来た歴史や背景なども知っておくことで現在の制度を理解する事につながるのではないかと思います。グループワーク(2)では、実際に面談をする時の自分の気持ち、相手の気持ち、印象などについて触れる機会とし、午前中では仕事をすることで法令などの理屈と人の感情の両方を的確にとらえていくことの大切さについて学ぶことが出来たのではないかと思います 午後は初めてワールドカフェ方式でグループワークを行い、『私が目指したい相談員像・その為に私はどんな事に取り組むか?』というテーマについて深く話をしていた。各参加者に任意で飲み物を準備頂き、とてもリラックスした雰囲気です話をすることが出来たが、午前中ですでに打ち解ける事が出来ており、グループワーク(2)と結果的にテーマが似通ってしまった為、スケジュールの進め方にはもう少し工夫が必要と受け止めている。相談職は、自分の所作や言葉遣い・視線の配り方に至るまで、客観的に見つめなおしていきながら、施設内外と関わる人々と信頼関係を築いていく必要があるが、少しずつ正直さのやりとりを積み重ねていく中で育んでいけるものと思う。そんな相談職になれるよう、今後も研鑽を重ねていきたい。				

* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。